

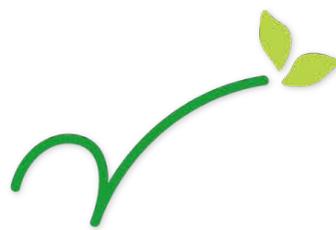
JGAP畜産オンラインイベント



福島県におけるGAP推進の取組



ふくしま。
GAPチャレンジ



福島県農林水産部
環境保全農業課

GAPチャレンジ宣言

平成29年5月15日



県産農産物の安全性
を確保するためツールとして“**GAP**”を
推進

震災と原発事故で傷ついた生産者のプライドを、認証取得のプロセスを通して、新しい誇りとして創り上げたい。震災以降の国内外からの応援に対する感謝の気持ちを伝えたい。

認証取得に向けた取組



費用負担軽減

認証審査や分析にかかる費用など
認証取得や更新に必要な経費を補助



選択肢を拡大

福島県が認証する
ふくしま県GAP (FGAP) を創設。
放射性物質対策を強化



助言・指導体制

GAP指導員の育成
・普及指導員 (県)
・営農指導員 (JA)
1,000名以上の指導員がサポート



学生から取組

次代を担う生産者を育成するため、農業高校や農業短大でのGAPの取組等を支援。

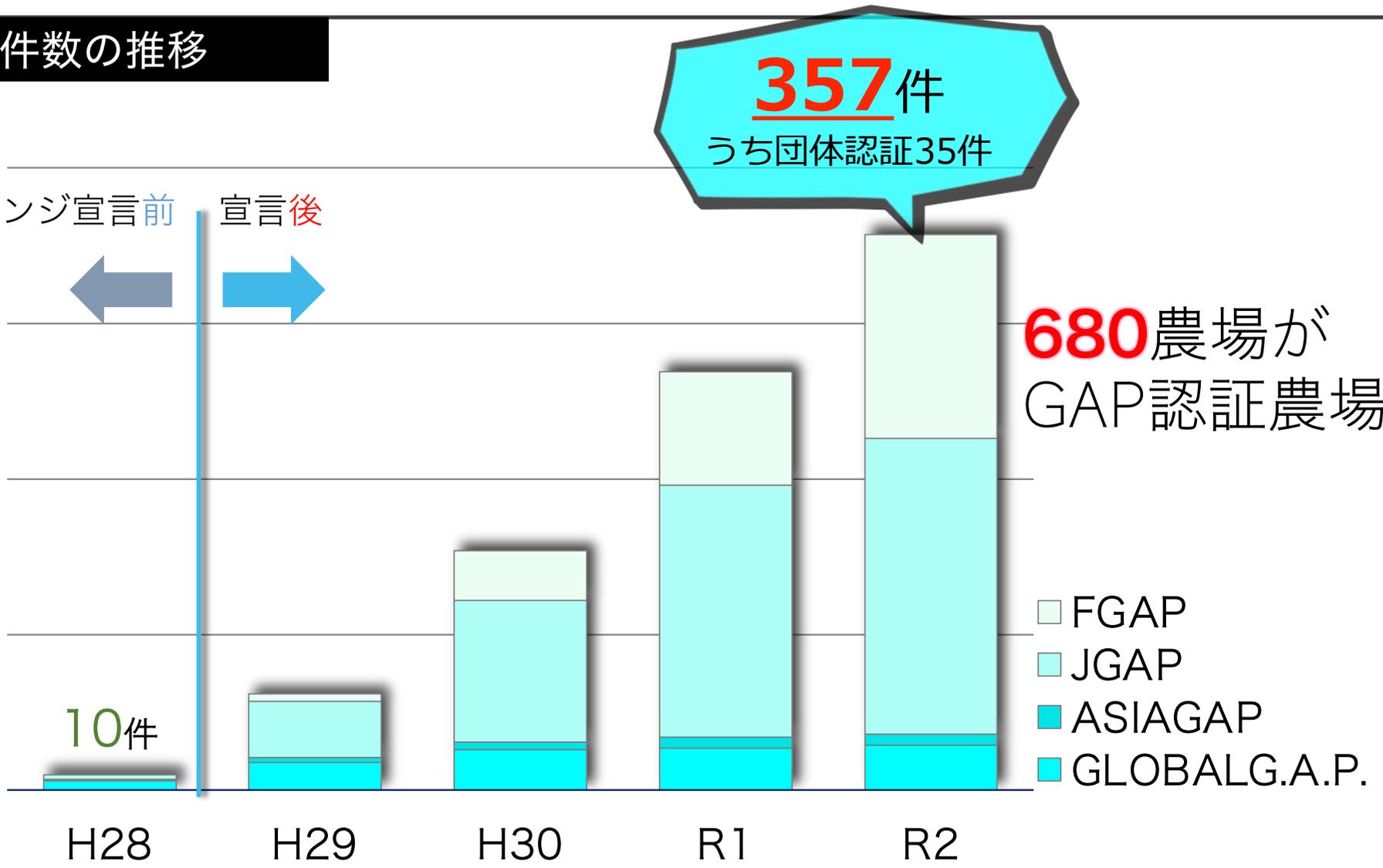


消費者等のGAPの理解促進

ポータルサイトを立ち上げ、認証農産物の販売フェアの開催、各種イベント等でのPR、生産者と食品関連事業者のマッチング支援

GAP認証件数の推移

チャレンジ宣言前 宣言後



ふくしま県GAP (FGAP) とは？



“FGAP” 独自の取組

- ☑ 農作物に放射性セシウムを吸収させないための対策
- ☑ 資材や作業機械に付着した放射性物質による農作物への汚染防止
- ☑ 出荷前検査による安全性の確認

≡ ≡ ≡
☑ 県が認証
☑ 現地審査は外部機関に委託

県産農産物の安全性確保
消費者からの信頼向上

理解促進の取組事例



令和3年10月15日～12月15日開催
 県内各スーパー及び飲食店で県内のGAP認証
 農産物の販売やメニュー提供を実施。



6社のべ
 53店舗で
 実施



GAPコーナーの設置



ラジオ番組の取材

GAPメニューの提供

理解促進の取組事例

ふくしま。GAPチャレンジ ポータルサイト

GAPに関する様々な情報やふくしま。GAPチャレンジの取組を紹介するコンテンツを配信。



ふくしま。GAPチャレンジ 2nd STAGE



県産農産物の安全性確保に加えて、経営改善や労務環境整備のツールとして、さらなる取組拡大を図る

ふくしま。

GAPチャレンジ



GAPチャレンジTV

チャンネル登録お願いします



公式Instagram

@fukushima.gapchallenge

